

平成22年 7 月 7 日

お知らせ

資料提供先

三次記者クラブ

地元の中学生在が尾道松江線の トンネル工事を見学します。

中国横断自動車道尾道松江線の麻志^{まし}トンネルの現場見学会を庄原市口和町^{くちわ}地内で行います。

見学会の対象は、庄原市立口和中学校の生徒と引率者の約60名です。
今回の見学会は、中学生にとって身近な場所で行われている高速道路の工事に関心を持っていただいた学校・PTAの方から、学校行事の一環として現場見学会開催の要望をいただき、実施するものです。

普段は滅多に目にすることのないトンネルの工事現場を中学生に実際に見て・触れて・感じていただき、工事にあたって採用されている構造や施工の方法について関心を深めていただくことを目的としています。

開催日時：平成22年7月8日(木)

13:45～16:00

集合場所：庄原市立口和中学校 (13:45集合)

(庄原市口和町向 泉^{むこういづみ}527-1)

※構造物の名称は、仮称です。

問い合わせ先

国土交通省 中国地方整備局 三次河川国道事務所

副所長(道路担当)

石川 庄嗣^{いしかわ しゅうじ}

【担当】建設監督官

神田 浩^{かんだ ひろし}

【広報担当】調査設計課長

丹後 浩一^{たんご こういち}

電話番号(0824) 63-4121(代表)

《参考》

麻志トンネル工事について

本工事は、総延長1,329mの麻志トンネルの掘削工事です。

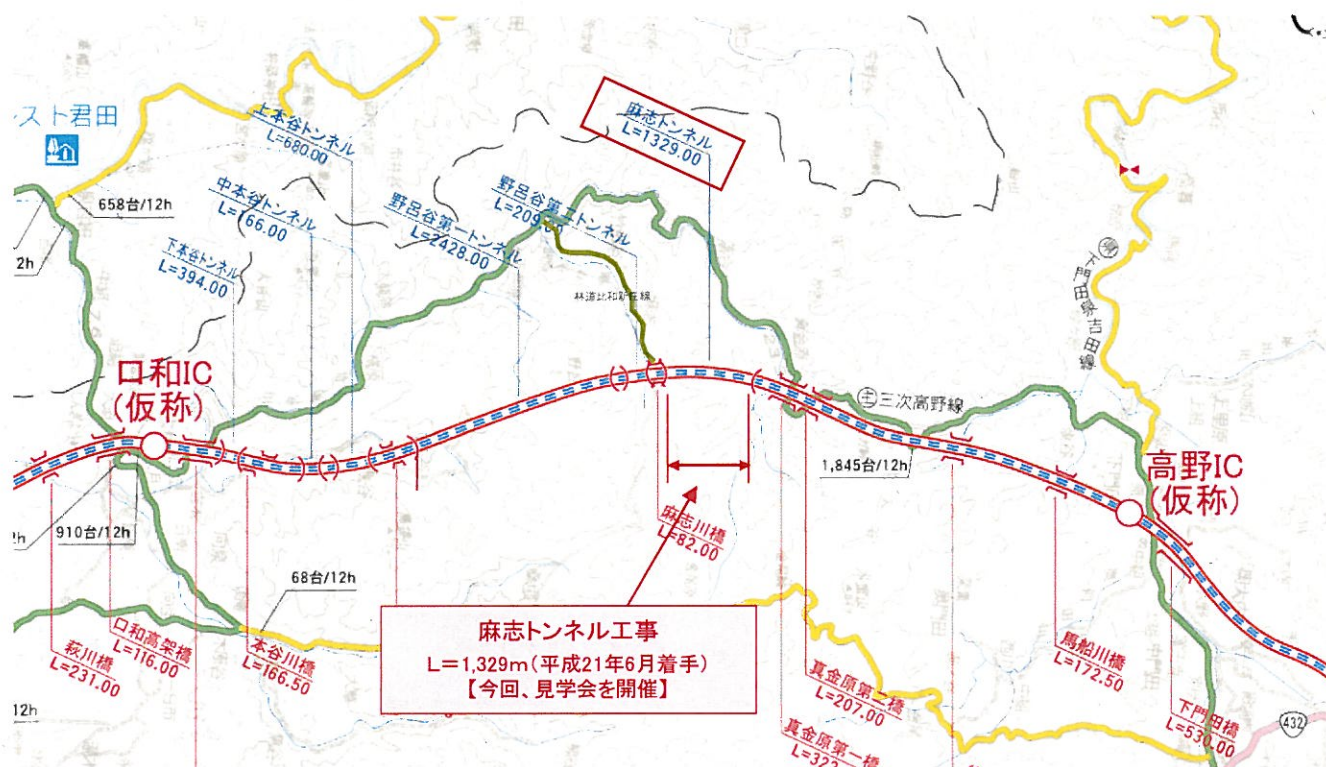
麻志トンネルは、爆薬を使う発破工法で掘っています。トンネルを掘った直後は現地プラントで練ったコンクリートを掘削面に吹付け、さらに円周方向にロックボルト（長さ3.0～4.0mの鉄筋）を打ち込むことで地山が崩れなくするという方法を採用しています。これは、NATM工法と呼ばれ、現在は標準工法として一般に広くトンネル工事で採用されているものです。

また、発破後のトンネル破碎岩は盛土を行う工区にダンプで運搬し、本線の盛土として活用しています。

なお、麻志トンネルは、見学会の行われる7月8日時点で1,140mまで掘削が進み（残り189m）、9月には貫通する予定です。

※構造物名は仮称です。

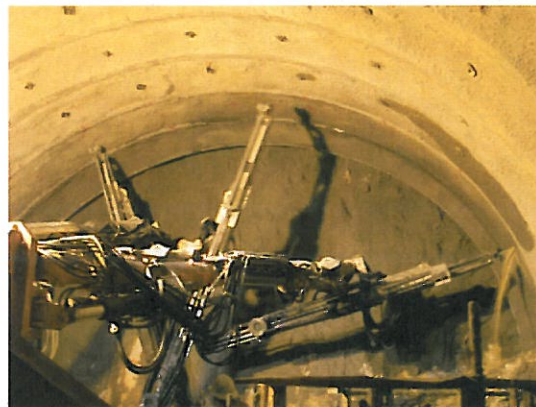
1. 位置図



2. トンネル内の状況



装薬作業



ロックボルト用の削孔



トンネルの覆工コンクリート打設

3. 集合場所



※口和中学校においては、尾道松江線建設事業の全体的な説明と、麻志トンネル工事の概略説明を行います。

〔見学会場周辺拡大図〕



※現地での見学は15:40頃迄で、その後16:00頃に口和中学校で解散します。